

学科別マナビ体感 & 模擬講義

地域環境科学部

森林総合科学科		林業	山村	木材	動植物	防災
432教室	学科別マナビ体感					
森林総合科学科ゼロ年生 私たち人間は、木材はもとより、食べもの、薬、香りなども含め、様々な森林の恵みを日々利用しています。ご来場の皆さんを“森林総合科学科ゼロ年生”としてお迎えし、入学後の学びにほんの少しだけ触れませんか？森林への多彩なアプローチをお楽しみ下さい。						
●体験企画●			●研究室案内ツアー●			
森林総合科学科ゼロ年生のみなさん、入学後の学びを先取りして体感してみよう。			8つの研究室すべてをご覧いただけるツアーを実施しています。 9:20/10:30/11:00/11:30/12:00/12:20/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30/16:00(各30分間)			
433教室	模擬講義		10:00～10:20		／ 13:00～13:20	
シカやイノシシを大量に捕る理由とクマへの影響 国の施策として、日本に生息する合わせて約300万頭のシカとイノシシの半減目標が立てられ、毎年数十万頭の捕獲が推進されています。どうしてこのような事態になってしまったのでしょうか。また、この強い捕獲事業の陰では、クマやカモシカなどへの大きな影響も懸念されています。最近の鳥獣管理の状況と課題について、分かりやすく解説します。			山崎 晃司 先生			
8/7(土)						
木の年輪から過去・未来をよむ 樹木には年輪があることを知っていますか？樹木は長生きなので、数十～数百年にわたってその樹木が生きてきた記録を年輪として蓄積しています。この年輪として刻まれた情報を読み解くとどのようなことがわかるのでしょうか？その一端を紹介したいと思います。						
8/8(日)			桃井 尊央 先生			

生産環境工学科		水と土	社会基盤	機械システム	エネルギー	環境情報
431教室 学科別マナビ体感						
食料生産基盤を整備し環境保全技術への貢献を目指す 331教室では食料生産の基盤となる土と水の保全，農産物の加工流通およびそのための道路整備やドローンを利用した環境計測技術などを，パネルや実演により学生が紹介します。また教員による進学相談コーナーも開設しています。農業工学と環境保全に興味のある人はぜひ！						
●体験企画● 【地域資源分野】 ●アクアポニックス（魚養殖と水耕栽培）をみてみよう●微生物燃料電池で発電してみよう 【環境情報分野】 ●無人航空機ドローンを飛ばしてみよう●沙漠緑化における環境を測ってみよう 【環境基盤創成分野】 ●川の水の速さはどうやって測るんだろうか 【機械システム創成分野】 ●次世代の農作業システムや新たな加工・流通技術の研究・開発について紹介します。			●研究室案内ツアー● 10:00～：太陽電池の効率はどのくらいなんだろうか 11:00～：無人航空機ドローンを飛ばしてみよう 13:00～：太陽電池の効率はどのくらいなんだろうか 14:00～：無人航空機ドローンを飛ばしてみよう （各回30分程度）			
433教室		模 擬 講 義		11:30～11:50		14:30～14:50
スマート農業を考える ～農作業って何だろう～				田島 淳 先生		
農業は生態系の一部を活性化させて生産を行うものです。生産は生物の成長であり、農作業はそのお手伝いです。その機械化は農作業の合理化に大きく貢献し、無人運転の技術も著しい発展を遂げています。しかし、我々の生存が生態系に依存していることは何も変わっていません。新しい農作業技術の未来は、化石燃料に依存した今までの方向とは異なるものと思います。生命の営みへの感謝と喜びを忘れない、未来の農作業について一緒に考えませんか。						
8/7(土) 8/8(日)						

造園科学科		都市緑化 技術	樹木医	景観 まちづくり	ランドスケープ デザイン	伝統造園 技術
442教室 学 科 別 マ ナ ビ 体 感						
人と自然の環境創造に貢献するスペシャリストを育成する						
造園学は、公園や緑地をはじめ都市空間から農山村地域まで、人と自然が共生する快適な環境を美しくデザインして創り出します。各研究室の最先端の体験企画に参加し、在学生や教員と交流してみませんか？またあなたの自身の体験を通して科学・技術・芸術を融合した造園科学科の楽しさ・奥深さに触れてみませんか？						
●体験企画●			●研究室案内ツアー●			
・体験！造園植物の世界 ・公園・街をCADと模型でデザインしよう！ ・造園空間をまるっとレーザで測ろう！ ・自然遺産を訪ねよう！ ・庭の石から地球の動きをのぞく など			教員1人＋在学生1人の案内で、サイエンスポート・学科全体・各研究室の施設を紹介し、普段の勉強と研究の環境を実感します。 各回20分程度。随時対応。4-12名が集まったら出発します。 ※学科説明・進学相談は随時受付			
444教室 模 擬 講 義 11:30～11:50 ／ 14:30～14:50						
生態系サービスって、なに？ 荒井 歩 先生						
みなさんが生きるこの時代は、持続可能な社会が強く求められています。SDGsを通して、自分が貢献できることを模索している人も多いでしょう。さてみなさんは、生物多様性から人間が受け取る恵みである「生態系サービス」を知っていますか？生物多様性や生態系サービスについて理解し、持続可能な社会のために私達ができること、やらなければならないことを、造園学の視点から探ります。						
8/7(土)						
都市の土地の履歴をみてみよう！ 田中 聡 先生						
○ みなさんに過去の出来事があるように、都市の土地には様々な過去の出来事(履歴)があります。都市の土地の履歴を知ること、例えば、緑化、都市計画、防災や家選びなど、様々な場面で役立ちます。今日は、都市域の様々な地図(地形や過去の土地利用など)をご紹介します。						
8/8(日) ○ そして、大学で学ぶ「ものの見方」に接して「見えないもの」が「見える」ようになる面白さや、造園学が対象とする領域の広さについて、みてみましょう。						

地域創成科学科		生きもの	自然再生	地域づくり	防災・減災	暮らし
443教室 学 科 別 マ ナ ビ 体 感						
自然・暮らし・持続可能な社会を創造する地域創成科学科 人口増加や生活様式の変化により、身近な生きものが絶滅の危機に瀕しています。また気候変動に伴い、大規模の自然災害が頻発し、今まで以上に防災力が求められています。人と自然が共生し、安全・安心な暮らしを創造するプロを養成する本学科の研究・教育内容をパネルや実際に現場で用いられる機器を展示し説明します。						
●体験企画● ・生きもの・自然再生を学ぶ・里山の生き物観察 ・新旧の農業技術を活用する・伝統的園芸技術の紹介と精密農業に向けた水質・土壌環境の測定 ・防災・減災を学ぶ・土石流の模型実験・移動計測車両による測量システムモビルマッピング・ドローン・3Dプリンター体験 ・地域創成科学科の地域づくりを学ぶ ～農山村から都市まで～			●研究室案内ツアー● 随時対応、お気軽にご相談下さい。ご希望の研究室を15分程度でご案内します。			
444教室 模 擬 講 義 10:00～10:20 ／ 13:00～13:20						
風通しのよいまちをデザインする 入江 彰昭 先生 公園は都市の肺、新鮮な空気を生成し、都市を換気する緑のオープンスペースです。クールスポットを活かし風の通り道をデザインします。温暖化を緩和する緑・市民がリフレッシュできる貴重なグリーンをみんなでクールシェアしよう。						
8/7(土)						
植物の「勝敗」は何で決まるか？ 亀山 慶晃 先生 植物は光や水を巡って競争し、それによって種の分布が決まる＝その環境に適応した種が勝ち残る、というイメージはありませんか？私もそう信じ切っていました。ところが近年、植物の分布を決定しているのは、そういった「競争」よりも、例えば柱頭に他種の花粉が付着するといった「間接的な相互作用」であることが分かってきました。外来種問題や希少植物の保全など、身近な話題を正しく理解するための新しい見方をお伝えします。						
8/8(日)						